

## 授業報告

## 近世浮世絵における七夕描写 —演習の授業報告と図書館展示—\*

東 聖子\*\*

《表現文化学科七夕EVE》のコラボ企画として、総合演習の授業で学生と浮世絵における七夕描写をリサーチした。またそれを図書館1Fのコーナーに展示させていただいた。

### ＜歳時記における七夕＞

七夕は陰暦七月七日であり、四季の詞で言うと季節は秋となる。中国の乞巧奠<sup>きっこうでん</sup>の行事が宮中の節会として入ったものが、わが国在来の棚機<sup>たなぼた</sup>つ女の伝説と習合したものとされている。

関連の言葉としては、「硯洗」といって、七夕の前後に、使い親しんでいる硯や机を洗い清めることを言い、文字の上達を願う奥ゆかしい風習がある。

### ＜浮世絵における七夕描写＞

演習の授業では、浮世絵作品になれるために、テーマを決めて図書館3Fにある大型本の浮世絵資料を全員でリサーチしている。七夕は中国から伝わった行事であるため、中国人留学生にとってもわかりやすいテーマであった。以下に、その中からいくつかの作品をあげる。

- ① 鈴木春信「風俗四季歌仙 立秋」
- ② 奥村政信「七夕祭」
- ③ 喜多川歌麿「七月七日星祭」
- ④ 鳥居清長「子宝五節遊（七夕）」
- ⑤ 歌川広重「江戸名所百景 市中繁栄七夕祭」
- ⑥ 北斎「七夕図」
- ⑦ 一勇齋国芳「雅遊五節句之内 七夕」
- ⑧ 同 「百人一首之内 中納言家持」
- ⑨ 同 「文月の七夕」
- ⑩ 芳年「月百姿 銀河月」

以上の画像を紹介しておく。本年度はここまでの萌芽的研究で終えておく。次年度はもう少し、四季の詞を検索しながら、浮世絵の内容までを考察していきたい。また、近世和歌・俳諧・小説などにおける七夕描写の考究という方向も将来への展望として考えている。

\* Research on the Expressions of Tanabata in Ukiyoe of the Edo Period

\*\* Shoko Azuma 十文字学園女子大学短期大学部 表現文化学科(Department of Culture and Communication)  
キーワード：七夕 江戸時代 浮世絵 年中行事

\*尚、展示については星野祐子先生から参考文献をお借りし、また展示をサポートいただいた。  
 浮世絵作品の撮影については図書館の近藤秀二氏にご協力賜った。感謝申し上げます。

【浮世絵資料】



①立秋 天の川の和歌『風俗四季歌仙』 春信



②七夕祭 政信



③七月七日星祭 歌麿



④七夕『子宝五節遊』より 清長



⑤市中繁米七夕祭『名所江戸百景』 広重



⑥七夕図 北斎



⑦七夕『雅遊五節句之内』 国芳



⑧百人一首之内家持 国芳



⑨文月の七夕 国芳



⑩銀河月『月百姿』より 芳年

参考文献：『図説俳句大歳時記』『大歳時記』『日本の歳時記』『天の川』  
 江戸時代の板本『増山井』『通俗志』その他